

# 鳴海ヶ丘新聞

第2号

2013年11月1日



文化芸術トピックス  
日本の文化に  
ふれよう！

黄五組 だるま  
だるまは、日本に古くから伝わる縁起物です。五組さんでは一人一人風船に張子をして、お顔を書いて、myだるまを作りました。



よく見ると、なんだか自分に似ているような...。福をたくさん呼び込みそうなかわいいだるまさんがたくさん並びました。



10月19日、展覧会が開催されました。今年度は「にっぽんの風景」をテーマにクラスごとに制作しました。歌舞伎では、先生が実際にくまどりを実演したり、相撲ののぼりを有松絞りで染めたりと、制作段階から日本の文化に親しみながら進められました。第一



ホールには、子どもたちの力作が所狭しと並び、ご来場いただいた皆様は、

日本をあらためて感じながらご覧になって頂けたことと思います。また各部屋に展示された個人作品も見ごたえがあるものばかりでした。黄組さんがはじめて制作した土粘土の作品は「かお」。顔のいろんなパーツを立体的に作るのが難しかったのですが、個性あふれる楽しい顔がいっぱい並



## 展覧会 にっぽんの風景



では、まさに小さな芸術家たちの作品が並びました。



びました。赤組さんの観察画「ざりがに」は実際に見たり触れたりしながら、細かい部分まで描画しました。青組さんの描画には絵を描くことの楽しさがあふれていました。難しいテーマに挑戦した「模写」



## NARUMI ネイチャーウォッチング



### 鳥のお客様

鳴海ヶ丘幼稚園には、1年を通していろいろな鳥さんたちが遊びにきています。スズメ、ツバメ、ハト、シジュウカラなどみんながよく知っている鳥はもちろん、普段見ることができない鳥さんも見かけます。先日は、運動場で一生懸命に木に穴をあけているコゲラという小型のキツツキを青組さんが発見しました。写真は先生がカメラにおさめたものです。これからの季節には、なるなる畑の果実をねらってヒヨドリやムクドリ、それからマヒワやズナなどの鳥さんも遊びに来ます。春が近づくとウグイスの鳴き声が聞こえることがあります。いろいろな鳥さん遊びも楽しみです。



をまとった巻藁船が完成しました。本物のお祭りにも行ってみたくありませんか。

余年の歴史をもつ川祭り。宵祭りに出る四百余りの提灯をまとった巻藁(まきわら)船を制作しました。紙を貼って提灯を作るのがとても大変でしたが、みんな力で合わせて完成させ船に飾ると、ゆらゆらとたくさんの灯りを



根気のいる作業でしたが、みんな力で合わせました。遂げました。富士山を見てみんな大満足でした。

赤二組 富士山  
今年、世界文化遺産に登録された富士山。その富士山を大きなちぎり絵で表現しました。包装紙、折り紙、新聞紙を小さくちぎり、こつこつと貼っていきました。根気のいる作業でしたが、みんな力で合わせました。遂げました。富士山を見てみんな大満足でした。



### マイカルチャー

友達に誘われて始めたスペイン語。まさか自分がスペイン語を習うとは夢にも思っていませんでした。初めて教室を訪れた時の印象はアットホームな雰囲気です。先生は笑顔が素敵で内面から温かさがにじみ出てくるような方でした。先生は仕事でスペインに行き、スペインという国に魅了され、定年後、本格的にスペイン語を学ばれたそうです。先生は、「言葉は楽しく覚えていくもの」とおっしゃって、テキストの内容だけでなく、ご自身がスペイン滞在中に文化の違いにびっくりしたり、戸惑われたことやいろんなハプニングをおもしろおかしく話してくださいました。また、ご自宅にてスペイン料理の代表パエリアをご馳走下さったりと楽しい時間を過ごさせていただきました。その先生は、昨年亡くなられ、今はスペイン語から少し離れていますが、先生との出会いを通してスペインの文化を知ることができ、それと同時に日本の文化のすばらしさを再確認することができました。今年から文化芸術プログラムが始まりました。世界にはいろいろな国があり、それぞれの文化があります。文化芸術体験を通して、少しでも子どもたちに国によって文化の違いがあること、そして日本の文化のすばらしさを伝えていきたいと思っております。 総主任 平井たかね